

令和4年12月 9日

東京都知事

小池 百合子 様

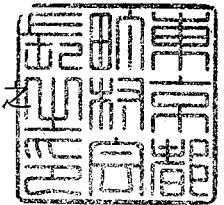
東京都市長会

会 長 石 阪 丈



東京都町村会

会 長 杉 浦 裕



令和 5 年度国民健康保険事業費納付金算定に関する緊急要望について

先般、国より令和 5 年度国民健康保険事業費納付金及び標準保険料率の算定に用いる仮係数が通知され、東京都より、その仮係数に基づく保険料等の算定結果が示されたところです。

今回、東京都より示された保険料算定結果は、令和 4 年度と比較して 8.9%増と大幅に伸びており、その主な要因として、「一人当たり医療費の増」が挙げられています。

医療費が増えた要因として、被保険者の高齢化及び医療の高度化などの影響があると推察されますが、新型コロナウイルス感染症が全国で拡大している中、経済的な課題を抱える者が多い被保険者の負担として保険料に転嫁することは避けるべきです。

つきましては、国民健康保険制度が安定的かつ持続的に運営できるよう、負担を被保険者に転嫁することを防ぐため、国に財政支援を求めていくこと、また、国民健康保険財政の責任主体として東京都独自に必要な財政措置を講じることを強く要望いたします。